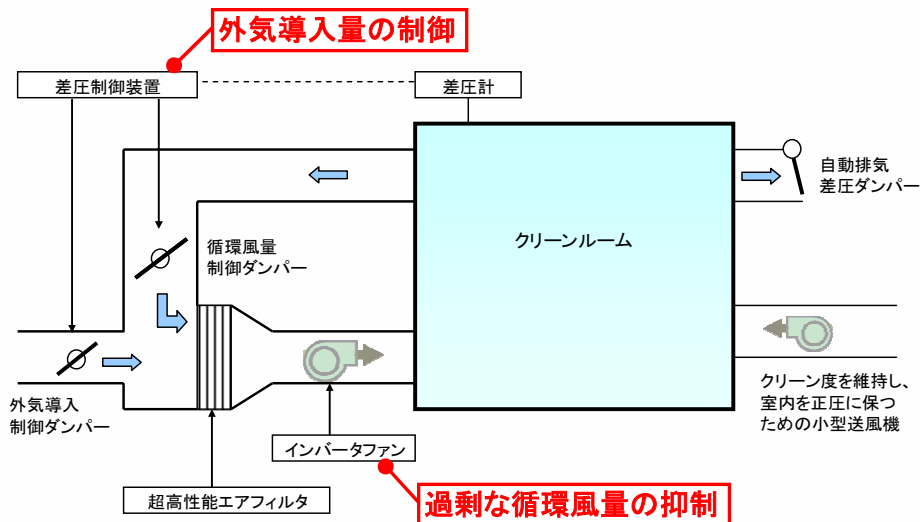


清浄度が保てる最小風量になるように調整しましょう。

クリーンルーム内の清浄度を保てるような最小風量となるように、ファンの回転数を調整することにより、消費電力の削減を図ります。

対策例



省エネ対策のポイント

- ・クリーンルームの場合、クリーン度を確保しながら、室内を正圧に保つ必要があるため、適正な外気導入量を行うことが必要です。

参考資料

クリーンルームの清浄度について

- ・一般的に、クリーンルームの清浄度は、単位体積中の基準の大きさ以上の塵埃（微粒子）の数量で、清浄度クラスとしてクラス分けされています。この数量が小さいほどゴミがない空間であり、大きいほど一般環境に近い空間になります。
- ・清浄度を示す規格については、これまで「米国連邦規格Fed. Std. 209E」が使われていましたが、2001年に廃止され、現在は、国際統一規格であるISO規格に移行されています。

ISO清浄度クラス分類表

清浄度クラス	上限濃度(個/m ³)は、以下に示す対象粒径以上の粒子濃度を表している						米国連邦規格基準相当値
	0.1 μm	0.2 μm	0.3 μm	0.5 μm	1 μm	5 μm	
ISOクラス1	10	2	—	—	—	—	—
ISOクラス2	100	24	10	4	—	—	—
ISOクラス3	1,000	237	102	35	8	—	クラス1
ISOクラス4	10,000	2,370	1,020	352	83	—	クラス10
ISOクラス5	100,000	23,700	10,200	3,520	832	29	クラス100
ISOクラス6	1,000,000	237,000	102,000	35,200	8,320	293	クラス1,000
ISOクラス7	—	—	—	352,000	83,200	2,930	クラス10,000
ISOクラス8	—	—	—	3,520,000	832,000	29,300	クラス100,000
ISOクラス9	—	—	—	—	8,320,000	293,000	—